

各位

2023年7月3日  
KNT-CTホールディングス株式会社  
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本  
TEL：03-5325-8547

### 旅行取扱状況の概観（令和5年4月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

#### 記

国内旅行の取扱額は、一般団体は2018年比92.6%、学生団体は同85.4%、団体旅行合計では同88.2%となった。企画旅行については2018年比53.5%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、2018年比61.7%と2018年度を下回った。

海外旅行の取扱額は、一般団体は2018年比39.9%、学生団体は同88.9%、団体旅行合計では同50.1%となった。企画旅行については2018年比9.3%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、2018年比23.8%と2018年を下回った。

訪日旅行については、2018年比93.6%となった。

以上の結果、ホールディングス主要会社の4月の総取扱額は、前年比166.6%と前年を上回る結果となったものの、2018年比55.0%と2018年を下回った。

#### 【区分別の状況】

##### 1. 国内旅行

国内団体については、2018年を下回ったものの、慶讃法要案件の取扱い及び企業系コンベンションの取扱いにより、職場旅行や招待旅行が好調だった2018年比92.6%まで底上げした。学生団体は、修学旅行の取扱額は前年を上回ったが、2018年比88.1%になった。

修学旅行以外の取扱いにおいては、宿泊研修の取扱いの減少により、2018年比79.6%となった。この結果、国内団体旅行合計では2018年比88.2%となった。

国内企画旅行については、国内自社企画（フリー型商品）では、WEBでの販売開始が遅延し販売期間が短かったことなどにより、2018年を下回ったものの、クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、桜の早期開花による売り上げ減は限定的こととどまり、テーマ型付加価値商品が堅調であったことなどから、前年の対2018年比34.2%から2018年比53.5%まで回復した結果となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、2018年比61.7%となった。

##### 2. 海外旅行

海外団体については、スポーツ競技団体の遠征案件の取り込みや、法人企業における視察・研修案件の取り込みがあったものの、企業報奨旅行の大型案件が減少し、2018年比39.9%となった。

学生団体は語学研修や滞在日数の長い留学（期間3か月）案件の取扱いがあり、2018年比88.9%となった。この結果、海外団体旅行合計では2018年比50.1%となった。

海外企画旅行については、2018年比9.3%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、3月まで海外企画商品のプロモーションが不足していたこともあり、販売が低迷した。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、出入国時の水際対策の継続、2018年比で販売ツアー数が減少、円安及び燃油料金の高騰からツアー料金の上昇により、2018年比では低迷した。方面及び商品としては、日本発着のクルーズ商品が好調に推移、方面としては、比較的安価なツアーとして、アジアが好調であった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、2018年比23.8%となった。

### 3. 訪日旅行

訪日旅行については、ロシア・中国を除く春季レジャー団体、訪日個人旅行者向けオンライン宿泊販売、JAPAN RAIL PASS  
がいずれも回復基調となり、2018年比93.6%となった。

以 上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから 2018年  
度との比較にて表記。